

【1月の被害例】

1. Strasbourg Saint Denis 駅の階段をスーツケースを持って降りていると男性が手伝ってくれた。階段を降りきると、コートに唾がついていると指摘されたため、リュックを降ろしてコートを脱いでいる隙にリュックを持って逃げ去ってしまった。(男性旅行者)
2. 空港行きのバス亭でバスを待っている際、男性が携帯のGPSの使い方を教えて欲しいと頼まれた。携帯を見ている隙に気づいたらビジネスバッグがなくなっていた(男性出張者)
3. CDG空港からパリ市内に向かうタクシー乗車中、車両が停車した際に複数の男に車の全ての窓ガラスが割られ、手元に置いていたバッグを強奪された。(女性出張者)
4. プランタン近くのレストランにて家族で食事中、子どもの世話で気を取られている隙に下に置いていたバッグ内から貴重品入れが盗まれた。(家族旅行者)
5. オペラ駅構内で改札を通ろうとした際、スーツケースがひっかかり通れなかったところ、女性が手伝ってくれた。女性がカバンをよく触るので気になっていたが、後刻、カバン内から貴重品を入れたポーチが盗まれていたことに気づいた。(女性旅行者)
6. 北駅のチケット販売機前で肩をたたかれ、何か質問されたが、「知らない」と答えた。その後、スーツケースの上に引っかけていたハンドバッグが盗まれていることに気づいた。(男性出張者)
7. 4号線の Barbes Rochechouart 駅構内のエスカレーターで移動している際、後方にいた男性の距離が近いと感じていたが、気がついたらバッグのポケットから貴重品が盗まれていた。(女性旅行者)
8. パリ18区を車で走行中、渋滞になった際にパンクさせられた。男性がパンクの修理を手伝ってくれたが、いつの間にか車両の中のカバンを盗まれていた。(女性旅行者)
9. Rue de Rivoli でウィンドーショッピングをしている際、気づいたらリュックのジッパーが開いており、貴重品が盗まれていた。(女性旅行者)
10. RERのB線内にて、ボックス席の窓側にリュックを置き、通路側に座っていたところ、男性が通路で小銭を落とした。無視していたが、足を触るくらい接近して「ここにある」と言ったため、足元を見ている隙にリュックを盗まれた。(女性在留邦人)